

- A ねえ、聞いていい？
- B 何？
- A 私のコート、飛ばされちゃったみたいなんだけど。窓のところにかけたの……見てない？
- B 見てないけど。
- A そう。
- B この風なんだから、しっかりとめとかなきゃ駄目でしょ。
- A しっかりとめたよ、いつもどおり。
- B いつもどおりじゃ駄目でしょ、いつもよりしっかりとめなきゃ。
- A そうだけど、朝は風無かったんだもの。
- B 諦めた方がいいんじゃない。
- A そう思っただけで買っていくところ。
- B 今から？ こんな時間に売ってるところなんてあるの？
- A でも必要なんだもの。明日は凄い雨になるらしいし。
- B 確かに、雨も風もひどくなるって言ってた。しかも、しばらく続くって……。
- A やっぱりもう少し探そうかな。
- B どんなコートなの？
- A ラクダ色。
- B えッ。
- A それしか持っていないよ。
- B ラクダ色好きなの？
- A 大好き。
- B じゃあ探すべきでしょ。手伝ってあげる。
- A 親切だね。
- B だってラクダ色でしょ。しかも大好きだなんて聞いたから放っておけないし。
- A それって、ラクダ色だからなの？
- B そう。ラクダのことが大好きなの。
- A そんなに？
- B だって命の恩人なんだもの。助けてもらったの、ラクダに。

A へえ……、どこで？

B 砂漠に決まってるじゃない、他にないでしょ？ ラクダに助けられるチャンスなんて。

A それはそうだけど。

B ほら、あそこって暑いでしょ？ 果てしなく広いから、歩いてもキリがないの。だからへこたれちゃって……。

A 何で砂漠なんか行ったの？

B そんなのわからないよ、だって夢だもん。

A 夢なの？ なんだ……。